

〔科目名〕 経済演習 I	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 演習科目																						
〔担当者〕 河野秀孝		〔授業の方法〕 演習																						
〔演習テーマ〕 本演習では、具体的な題材に基づき、経済学の観点から、少しでも <u>統一的・論理的分析</u> ができるようになることと、 <u>経済学という学問の魅力</u> を満喫してもらえかと思います。一見すれば、正しいまともな議論と思われるものでも、必ずしも説得力が充分であるとは限りません。毎日の経済現象を題材とした <u>体系的論理的思考の訓練</u> であると考えてください。																								
〔演習内容〕 皆さんに <u>経済学的思考の面白さ</u> を知ってもらうために、 <u>著名な学者の考え方を紹介</u> いたします。同じテーマでも <u>個人の思想や視点の相違による思考の多様性が存在</u> することを理解してください。 ところで、 <u>皆さんはどの経済学者の考え方に</u> より共感を持たれるのでしょうか。それは <u>どうしてなのでしょう</u> か。このようなことを自問自答し、ゼミでの討論を重ねながら、皆さんの <u>思考力を伸ばすお手伝い</u> が出来ればと思います。																								
〔科目の到達目標〕 今日の世界では、経済に関する諸問題は、日々マスコミのニュースにもなっています。この事は、私たちの日常生活までも、 <u>経済的側面から多大なる影響</u> を受けていることを示しているのです。本演習は、日々の私たちの生活への影響を、身近な事例をテーマとして考えながら、皆さんを取り巻く <u>経済の諸問題</u> を <u>統一的に理解・分析</u> することの <u>楽しさ</u> を味わってもらうとともに、 <u>今後履修される専門領域の紹介</u> になればと思います																								
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕																								
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="4">学部</td> <td colspan="3">学科</td> </tr> <tr> <td>DP1</td> <td>DP2</td> <td>DP3</td> <td>DP4</td> <td>DP1</td> <td>DP2</td> <td>DP3</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>				学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○						○
学部				学科																				
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																		
○						○																		
〔前提条件〕 ミクロ経済学は必修が望ましい。																								
〔学修の課題、評価の方法〕 (テスト、レポート等) ゼミでの討論への参加状況と、レポートによる評価。																								
〔教科書等〕 *配布資料 *参考文献：ポール・ミルグロムとジョン・ロバーツ（訳 奥野正寛 他）「組織の経済学」NTT 出版、1997 年。																								
〔実務経歴〕 製造業																								
授業スケジュール																								
時期	テーマと内容																							
9月下旬 から 10月中旬	革新性テコに米国復権、 ジャグディシュ・バクワティ 著 発展の裏に政府の役割、 ジョセフ・スティグリッツ 著 民主主義、世界的に興隆 アマルティア・セン 著 発展と破壊、時代を画す、 ジョン・K・ガルブレイス 著																							

10月下旬 から	国民経済へ政府は行動を、 ジョン・K・ガルブレイス 著 終焉を迎えた「主義」の概念、 宇沢弘文 著
11月中旬	WTO 交渉： テーマは伝統分野優先で、 ジャグディッシュ・バクワティ 著 為替政策を問う： 日米、円安定へ基準相場を、 ロナルド・マッキノン 著
11月下旬 から	新しい経済： 波乱呼ぶ情報革命、 アルビン&ハイディ・トフラー 著 新しい経済： 「第三の波」へ移行急激、 アルビン&ハイディ・トフラー 著
12月下旬	相互依存の時代： 未来への責任語ろう、 ジョン・K・ガルブレイス 著 変動米国株と世界景気： バブル後の調整続く、 ジョン・K・ガルブレイス 著
1月中旬 から	選択の自由 I、 ミルトン・フリードマン 著 選択の自由 II、 ミルトン・フリードマン 著
1月下旬	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神 マックス・ウェーバー 著 雇用、利子、お金の一般理論 ジョン・メイナード・ケインズ 著
	※行数は適宜、加減してください。ただし全体で2ページ以内に収まるようにしてください。